

臨床美術の  
現場から

37

## コロナ禍でもアートで対話を続ける

社会福祉法人きらくえん  
KOBE 須磨きらくえん  
【兵庫県神戸市須磨区】



オンライン教室の様子

## ❖ KOBE須磨きらくえんとの出会い

「KOBE須磨きらくえん（特別養護老人ホーム）」での入居者との臨床美術を通じた交流は6年目となりました。ご縁のある「喜楽苑地域ケアセンター あんしん24デイサービス」（兵庫県尼崎市）よりご紹介をいただき伺うことになりました。

臨床美術スタッフ数名と毎月1回、入居者6～8名が参加され実施しました。最初は戸惑われることも多かったのですが、回を重ねるごとに皆さんの笑顔が



2020年1月教室風景

増え、お隣同士やスタッフとの会話が増えていきました。職員も完成した作品を見て「すごい！家族さんにぜひ見せましょうね！」と驚かれるようになりました。

KOBE須磨きらくえんは「多世代共生のまちづくり」をコンセプトとして、地域の方との交流を深めておられます。1階には落ち着いた雰囲気のアート・ギャラリーがあり、一般の方の様々な作品も展示され、鑑賞も自由にできます。そのアート・ギャラリーで2017年と2019年に「KOBE須磨きらくえん臨床美術教室作品展」をさせていただき多くの方が鑑賞されました。次は2021年秋に作品展を予定していました。

ところが2020年2月、教室は休止せざるを得なくなりました。コロナウイルス感染が急激に拡大したのです。

## ❖ 今できること

教室休止中でも何かできることはあるはずと臨床美術スタッフと相談しました。そこで外出が難しく、ご家族となかなか会えない参加者に、季節感を感じてもらえるアート作品を制作してプレゼントすることに



2021年5月オンライン教室「三原色のクロッキー」制作風景



2019年6月作品展

しました。年賀状や満開の桜の作品等を参加者1人1人への手書きのメッセージも忘れず添えました。

しかし、2021年春になっても状況は変わらず、教室再開は無理かと思いついた頃、きらくえんより連絡をいただきました。

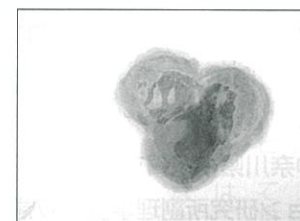
## ❖ オンライン教室実施を試みて

内容は、教室に参加されていた入居者が「いつ絵は描けるの？」とお話しておられるとのこと。臨床美術士が施設に入らずに、教室を実施できる方法を、提案してほしいとのことでした。

待っていてくださる方がおられるのは大変嬉しいけれど、臨床美術士が現場に存在せず実施するなんて…それは可能なのかと悩みました。

きらくえんと相談の結果、教室は毎月1回オンラインでつないで実施することに決定し、きらくえん側は作業療法士である職員の方に、サポートをいただくことになりました。オンライン教室実施に向けて準備を開始し、2021年5月よりスタートしました。

実に1年4か月ぶりに3名の参加者と再会、皆さん笑顔で画面越しに大きく手を振って下さいました。制作が始まると、長いブランクはなんのその！オンラインの画面をしっかりと見ながら手がどんどん動き出し、色彩豊かな作品を完成されました。しかし、目の前に参加者がいる対面の教室とは違い、戸惑うことがあります。試行錯誤を繰り返しながら毎月1回教室を続けています。



「三原色のクロッキー」の作品

## ❖ アートの対話で場を共有

臨床美術は本来、臨床美術士が現場で目の前の参加者と直接対話しながら共に場を共有し、アート制作を楽しんでいただくことが当たり前でした。それができない状況はしばらく続きそうです。コロナ収束後、臨床美術の現場が本来の姿に戻ることを待ちながら、今はオンライン教室という現場で参加者と「アートで対話する」ことを続けていきたいと思えます。

【臨床美術士 細見典子】

## ◎株式会社 社会福祉法人 きらくえん

## ◆ KOBE 須磨きらくえん

（特別養護老人ホーム、デイサービス、ショートステイ、居宅介護支援事業、ホームヘルプサービス、サービス付き高齢者向け住宅「フィーカ須磨の丘」）  
〒654-0111 兵庫県神戸市須磨区車字菅ノ池 1351-14  
TEL：078-747-3001  
FAX：078-747-3002  
HP：https://www.kirakuen.or.jp/facility/suma

## アートセラピー「臨床美術」とは

絵やオブジェなどの作品を楽しみながら作ることで脳を活性化させ、高齢者の介護予防や認知症の予防・症状改善、働く人のストレス緩和、子どもの感性教育などに効果が期待できる芸術療法（アートセラピー）のひとつです。

1996年に医師、美術家、ファミリーケア・アドバイザーがチームとなって実践研究をスタートさせました。医療・美術・福祉の壁を越えたアプローチが特徴の臨床美術は、介護予防事業など認知症の予防、発達が気になる子どもへのケア、小学校の特別授業、社会人向けのメンタルヘルスケアなど多方面で取り入れられ、いきいきと人生を送りたいと願うすべての人へ希望をもたらしています。

## ◆ 芸術造形研究所ホームページ

http://www.zoukei.co.jp/

## ◆ 日本臨床美術協会ホームページ

http://www.arttherapy.gr.jp/

\*表紙掲載作品\*

プログラム名「動く形を楽しもう」  
制作者：KOBE 須磨きらくえん臨床美術参加者